

第六十條 前條第一項ニヨリ入院治療ヲ要スル場合ニ於ケル入院ノ等級ハ職長心得以上ヲ二等トシ小頭以下ヲ三等トス但シ病狀ニヨリ小頭以下ト雖之ヲ二等トナスコトアルベシ

第六十一條 職工療養ノ爲メ業務ニ服スル事能ハザルニ因リ賃金ヲ受ケザルトキハ其療養中一日ニ付賃金ノ二分ノ一以上ノ扶助料ヲ支給ス但シ其支給ガ引續キ三ヶ月以上ニ涉リタルトキハ其後ノ支給額ハ一日ニ付賃金ノ三分ノ一トス

第六十二條 負傷又ハ疾病ガ治癒シタル時ニ於テ尙身体ノ障害ヲ存スルトキハ左ノ區別ニ從ヒ扶助料ヲ支給ス

- 一、終身自用ヲ辨ズルコト能ハザルモノ 賃金ノ百七十日分以上
- 二、終身勞務ニ服スル事能ハザルモノ 賃金ノ百五十日分以上
- 三、從來ノ勞務ニ服スル事能ハザルモノ健康

舊ニ復スル事能ハザルモノ又ハ女子ノ外貌ニ醜痕ヲ殘シタルモノ

賃金ノ百日分以上

四、身体ヲ傷害シ舊ニ復スルコトヲ得ズト雖

賃金ノ三十日分以上

從來ノ業務ニ服スル事ヲ得ルモノ

第六十三條 職工死亡シタルトキハ其遺族ニ賃金ノ百七十日分以上ノ遺族扶助料ヲ支給ス

第六十四條 職工死亡シタルトキハ勤續年數並ニ功勞等ニヨリ左ノ區別ニ從ヒ葬祭ヲ行フ遺族ニ葬祭料ヲ支給ス

- 一、職長心得以上ノ遺族ニハ 七十圓以上百圓迄
- 二、小頭ノ遺族ニハ 五十圓以上七十圓迄
- 三、伍長ノ遺族ニハ 三十圓以上五十圓迄
- 四、其他ノ職工ノ遺族ニハ 二十圓以上三十圓迄